

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」
 2018 年度 共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2019 年 4 月 19 日 提出

1. 研究課題名	
法政大学図書館所蔵の正岡子規文庫資料のデジタル化およびアーカイブ上での公開 (英文表記: Digitization of "The Masaoka Shiki Collection" belong to Hosei University Library and publication on archive)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
中丸 宣明(なかまる のぶあき)	法政大学文学部日本文学科 教授
3. 研究分担者 (合計: 名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
遠藤星希(えんどうせいき)	法政大学文学部日本文学科 専任講師
加藤国安(かとうくにやす)	二松学舎大学東アジア学術総合研究所 特命教授
小林ふみ子(こばやしふみこ)	法政大学文学部日本文学科 教授
竹田美喜(たけだみき)	松山市立子規記念博物館 館長

4. 研究課題の概要
<p>法政大学図書館の所蔵の貴重書「正岡子規文庫」のうち資料価値の高いものを撮影・デジタルデータ化し、「法政大学図書館デジタルアーカイブ」上で公開する。「正岡子規文庫」は、俳人正岡子規の旧蔵書のうち和漢籍や自筆ノート等約 2100 点からなり、1949 年に法政大学へ寄贈されたものである。</p> <p>これまで図書館の事業として、すでにデジタルアーカイブサイト構築に取り組んでおり、現在「正岡子規文庫」を含めた貴重資料 325 点 20,836 カットが公開中である。</p> <p>2018 年度においては、正岡子規文庫資料のうち、特に資料価値の高いものを当該共同研究において精査し、約 7,200 カットをデジタル化し、アーカイブに追加・公開し、正岡子規研究の更なる発展に寄与する。</p>
5. 研究成果の概要
<p>過年度にデジタルデータ化を行った 317 点について、ARC 古典籍ポータルデータベースと連携を行い、ポータルデータベース上の検索結果から法政大学デジタルアーカイブへと誘導可能となった。</p> <p>また、過年度にデジタルデータ化を行ったが、出版時期が不明なため、公開を見送っていた資料について、出版時期の特定を行い、公開可能な資料を検討した結果、新たに6点を公開した。</p> <p>俳諧および漢籍資料を中心に、優先的にデジタルデータ化を行うべき資料を検討した結果、2018 年度は 113 点、約 7,000 カットをデジタル化し、アーカイブ上で公開を行った。</p> <p>今回公開した資料の中には、上方の子ども絵本の合綴や夏目漱石とともに買い求めたとされており子規自身の書き込みと思われる個所がある俳諧資料などが含まれている。</p>